

2024 年度

一般選抜Ⅱ期

選択科目

試験時間 9:30 ~ 11:30 (120分)

1. 国語	14 ページ
2. 英語	7 ページ
3. 数学	4 ページ

注意事項

- ①試験開始の指示があるまで、問題冊子の中を見ないこと。
- ②出願時に選択した科目を受験すること。
- ③問題冊子の印刷不鮮明やページの落丁・乱丁等があった場合は、手を高く挙げて監督者に知らせること。
- ④試験終了の指示があったら、直ちに解答をやめること。
- ⑤試験終了後、問題冊子は持ち帰ることができます。

健康科学大学

健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学コース 作業療法学コース
人間コミュニケーション学科
看護学部 看護学科

1. 国語

※国語の問題は、全14ページです。

国語

1

次の文章は梶谷真司の論説『人生を変える文章教室 書くとはどういうことか』の一説である。これを読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。

文章が書けない理由は、そもそも書き方を学んでいないということだけではありません。「文章を書く」ということについて、誤解されていることが、かなりあります。そのため、上達しようと努力しても、間違った方向に行ってしまうのです。それを避け、努力を無駄にしないためにも、文章を書くことにまつわるありがちな、根深い誤解について説明しておきましょう。

A 一般的には、文章が書けるようになるには、文章力や表現力が重要だということになっています。このよくある考え方には、注意が必要です。文章を書く時に何より重要なのは、「何を書けばいいか」を知ることです。「文章力」や「表現力」がいるのは、あくまでそのあとです。

この2つがそれぞれ何を意味しているのかは、かならずしも明らかではありませんが、「文章力」は「てにをは」に注意する、主語と述語をきちんと対応させる、指示語が何を指しているのか明確にする、読点の打ち方に気をつける、接続詞を正しく使う、同じ言葉の重複に気をつける、簡潔に表現する、といったことでしょうか。

さらに全体のバランス、文章の順番や段落の構成はわかりやすいか、話が行ったり来たりしないか、説得力があるか、的確な具体例や比喩を用いられるか、文意や主張は明瞭か、といったことも「文章力」に含まれるのではないかと思います。

他方「表現力」というのは、微妙なニュアンスの違いを使い分けるとか、文脈に合った的確な表現を選ぶといったことでしょうか。ただ「感動する」ではなく「(ア) キンセンに触れる」にするとか、ただ「怒らせる」ではなく、「逆鱗に触れる」という表現を使えるかどうか。一般的に言えば、味わい深い、教養ある文章が書けるか、読者をひきつけ、先が読みたくなるような文章なのか、などです。

言葉としては、「表現力」は「文章力」に含まれるとも考えられるので、以下、煩雑さを避けるために、この2つを「文章力」という言葉でまとめることにします。いずれにせよ、いわゆるマニュアル本で説かれていることは、ほとんどがB「文章力」に関することでしょう。

ところが、文章力をいくら磨いたところで、それを生かせるのは、「何を書けばいいのか」、つまり書くべき内容が見つかってからです。このごく当たり前のことが、意外なほど理解されていないように思います。

そもそも文章力というのは、容易に身につくものではありません。本気で文章を書く機会が継続的にあつて、何年にもわたって自ら意識的に努力してはじめてついてくるものです。したがってマニュアル本のうたい文句でよく言われるように「簡単に文章力が身につく」ということは、実際には無理でしょう。

もちろん、そこに書いてあることが間違っているわけではありません。むしろほとんどのことが「ごもつとも」なことです。それを本当に実践できたら、「簡単に」ではないにせよ、実際に文章力が身につくだろうと思います。

問題は、努力して文書力を身につけなければならないような切実な機会が、多くの人にとってそれほど頻繁にはない、ということです。

書けるようになるためには、何よりもまず「書くべき内容」を見つけなければなりません。このことは、どんなに文章が書けるようになっても変わりません。だからこの内容を見つける方法を学ぶことこそが、文章を書くために何より重要なことなのです。

しばしば「文章には起承転結が大切だ」と言われます。学校でそう習った人も多いと思います。しかし、どうやって起承転結を作るのか、具体的に教わった人はいるのでしょうか。

かろうじて説明してあるものを見ても、何か特別な（イ）オウギがあるかのようなもつたいつけた書きぶりをしているか、「起承転結を作るのはカンタンです！」と安直なマニュアルを提示するだけです。ポイントは「転」にあるようで、これに気をつけないといけないとか、「転」から考えるといいとか言われます。あるいは、実際には起承転結になっていないのに、無理やりその枠組みに当てはめて説明していることもあります。

このように、「起承転結」の作り方は習わないか、もしくはぼんやりとして要領を得ない説明しかされません。なぜなのでしょう——起承転結は、そもそも文章の構成法ではなく、文章の書き方としては説明不可能だからです。

起承転結というのは、もともとは漢詩、それも4行からなる「絶句」という形式の詩の技法であって、いつのころからか（ウ）サンブンの書き方にもあてはめられただけです。それがやがてある種の「権威」まで帯びて、小説やエッセイ、さらには報告書、企画書、最近ではプレゼンの構成にまで拡張され、「正しい書き方」のように言われ「コソ」まで説かれるようになったのです。

他方で、起承転結は、論文には向かないとか、ビジネス文章には合わないとか、日本独特だなどと議論されています。でも本来、これはC議論の余地のない話です。

仮に誰かが「文章は全て俳句と同じく五七五で書くのが正しいのだ」などと主張すれば、何かの冗談だと思うでしょう。文章に起承転結を求めるのは、それと同じくらいおかしいアドバイスなのです。

文章をどのように構成すべきかは、当然のことながら、ジャンルによって異なっていて、同じジャンルでも時と場合によって違います。

レポートや論文であれば、大まかに序論・本論・結論ですが、本論をどのように構成するかは、テーマや論点、素材によっても変わってきます。ただし、どんな構成にするにせよ、レポートや論文では、論旨の一貫性が重要なので、「転」のような（エ）トウトツな話題転換などあつてはならないのです。

プレゼンであれば、課題や問題の提示、その原因の分析、それを解決する方法、結果として期待できることを書きます。企画書であれば、企画の（オ）シユシ、その具体化の方法、ポイント、期待される効果から成ります。いずれの場合も、最初に全体の概略を示すのが望ましく、話の途中で意外な「転」をもつてくるなど、聞いている人を困惑させ、たんにまとまりのない話に聞こえるだけでしょ。

小説であれば、伝記、ノンフィクション、推理小説、恋愛小説などによって、効果的な構成は

さまざまに考えられます。伝記であれば、「転」はその人の人生に転機でもない限り、あるのはおかしいですし、波乱万丈の人生なら、途中で何度も「転」が来るでしょう。推理小説や恋愛小説では、途中ではなく最後に「転」、どんでん返しがきいたりします。

どのようなスタイルの文章を書くにせよ、**D 起承転結**は不要です。この言葉がたんに「文章の構成を考えて書きましょう」というくらいのニュアンスで使われていることも多いようですが、誤解と無用な議論を招きかねません。それに本当に大事なポイントが見えなくなるので、言葉としても使わないほうがいいでしょう。

「本をたくさん読めば、文章も書けるようになる」とか、「文章が書けないなら、本を読みなさい」と言う人は少なくありません。学校でもそう教える先生は多いでしょう。いかにももつとも聞こえるこの種のアドバイスも、実は間違っています。

本をたくさん読むのに、文章が下手な人、書けない人はいくらでもあります。ここでも「何を書くか」その内容が先です。書きたいもの、書くべきものもないのに、いくら本を読んだところで、何も書けるようにはなりません。

たしかに自分が書く内容は、本の中から得ることもできるでしょう。けれども、ただ要約をするのでない限り、その本の中身の何が自分の書きたいことにつながるのか、そこから何を得るかは、本そのもののなかにはありません。書きたいもの、書くべきものがある程度でもはつきりしていないと、本から得るべきものは見つけられないのです。

逆に、本を読んだからといって、文章を書きたい気持ちがムクムクとわいてくるわけでもありません。ただ読書が好きで、自分で文章を書かない人はいくらでもありますし、むしろそのほうが普通でしょう。

(本文中の強調と小見出しを省略した。)

問1 傍線部(ア)～(オ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選ぶ。解答番号は ～ 。

- | | |
|---|---|
| (ア) キンセン
<input style="width: 40px; height: 20px; margin-left: 100px;" type="text" value="1"/> | ① サイキンが増殖する
② フツキン運動を毎日する
③ パンをイツキン買う
④ モツキンを演奏する
⑤ キンが新年と書かれた年賀状を送る |
| (イ) オウギ
<input style="width: 40px; height: 20px; margin-left: 100px;" type="text" value="2"/> | ① レイギ作法を学ぶ
② シンギを問う数学の問題が出題される
③ ギジン法が使われた詩を読む
④ 戦争でギセイ者が出る
⑤ 大学のコウギを受ける |
| (ウ) サンブン
<input style="width: 40px; height: 20px; margin-left: 100px;" type="text" value="3"/> | ① ブンサンして宿泊する
② ショウサンの的となった人物に会う
③ ショウサンが金属を溶かす
④ 辞典をサンシヨウする
⑤ 大企業のサンカに入る |
| (エ) トウトツ
<input style="width: 40px; height: 20px; margin-left: 100px;" type="text" value="4"/> | ① サトウとしょうゆを混ぜる
② コウトウ無稽なことを言う
③ ミトウの地にたどり着く
④ トウゲイ教室に通う
⑤ 永久トウドが広がる国へ行く |
| (オ) シュシ
<input style="width: 40px; height: 20px; margin-left: 100px;" type="text" value="5"/> | ① コウシュの要の選手として選ばれる
② 運転免許をシュトクする
③ シュコウを凝らした料理を作る
④ コウシュ刑が執行される
⑤ 起死回生のコウシュを指して勝利する |

問2 傍線部A「一般的には、文章が書けるようになるには、文章力や表現力が必要」とあるが、筆者はこの考え方に注意を促して論を展開している。その理由の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 文章力や表現力があれば文章は簡単に書けるという誤解に対して、文章力を磨くためには人間性を高めることが大事であることを主張したいから。
- ② 文章力や表現力があれば文章は簡単に書けるという誤解に対して、文章力や表現力には前提となる条件があることを主張したいから。
- ③ 文章力や表現力があれば文章は簡単に書けるという誤解に対して、書き方を学んでいないから文章を書くことができないということを主張したいから。
- ④ 文章力や表現力があれば文章は簡単に書けるという誤解に対して、努力して文章力を身につけないといけない機会が多くの人にとって頻繁にないことを主張したいから。
- ⑤ 文章力や表現力があれば文章は簡単に書けるという誤解に対して、そもそも文章力と表現力の2つがそれぞれ何を意味しているのかが不明瞭であることを主張したいから。

問3 傍線部B「文章力」とあるが、筆者が本文で述べる「文章力」の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 「文章力」と「表現力」は同じ意味なので、「文章力」という言葉でまとめて問題ない。
- ② 「文章力」と「表現力」では「表現力」の方が広い概念である。
- ③ 「文章力」と「表現力」には全く関連はない。
- ④ 「文章力」と「表現力」は2つで1つのまとまりなので「文章力」という言葉でまとめて問題ない。
- ⑤ 「文章力」と「表現力」の差異は本文においては重要な論点ではない。

問4 傍線部C「議論の余地のない話」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～

⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 「起承転結」という言葉が独り歩きをした結果、本来の使用法とは全く異なる使われ方をするようになったから。
- ② 「起承転結」の作り方について具体的に教わった人がなかなかいないから。
- ③ 「起承転結」は漢詩の技法であって、日本語に当てはめることに無理があるから。
- ④ 「起承転結」の作り方については安直なマニュアルが出回り、本質が伝わるものがなくなってしまうから。
- ⑤ 「起承転結」は「文章の構成を考えて書きましよう」というニュアンスで使われていることも多く、文字通りの意味ではないから。

問5 傍線部D「起承転結は不要です」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～

⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 「起承転結」の「転」が入ることで伝記の構成がわかりにくくなるから。
- ② 「起承転結」は日本独特だと議論されているが、無用な議論を招いているだけだから。
- ③ 「起承転結」のような型が当てはまる文章はまれであるから。
- ④ どんな文章でも「起承転結」よりも一貫性が重要であり、「転」はまとまりを壊してしまうから。
- ⑤ どんな文章でも「起承転結」よりも最初に全体の概略を示すのが望ましいから。

問6 本文の内容と合致する記述を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

10

。

- ① 起承転結は漢詩の「絶句」という形式の技法なので、漢詩を学ぶことが文章を書くために重要である。
- ② 書くべきものはつきりしていれば、本を読むことで自分の書きたいことを見つけることができる。
- ③ 「表現力」には、説得力のある文章を書けることや的確な比喩を用いることができることが含まれる。
- ④ 筆者は、テクニックよりも自分が書く内容を見つけることの重要性を繰り返し主張している。
- ⑤ 文章力について書かれたマニュアル本に書かれていることは、妥当な内容なので、読むことで文章力が身につくと考えられる。

2

次の文章は出口治明の随筆『人生を面白くする本物の教養』の一説である。これを読んで、後の問い(問1~6)に答えよ。

教養とは何でしょうか？どうして人間には教養が必要なのでしょうか？もし、そう質問されたら、私の答えは「教養とは、人生におけるワクワクすること、面白いことや、楽しいことを増やすためのツールです」という一言に尽きると思います。よりワクワクする人生、より面白い人生、より楽しい人生を送って、悔いなく生涯を終えるためのツール、それが教養の本質であり核心であると私は考えています。

「あの人はすごい教養人だ」と他人に評されるかどうかなどは、どうでもいいことです。教養とは、人からの評価を高めたり箔^{はく}をつけたりするためのものでなく、自分の人生をより彩り豊かにするためのものだと思います。ですから、教養を高めれば人生をもっとエンジョイできるのに、どうしてそうしないのか、という逆の問いかけもまた可能です。

W 日本人は、心の幅^{はく}が不足しているように感じます。とくに戦後の日本人はそうではないでしょうか。焦土から立ち上がって、とにもかくにもアメリカにキャッチアップしなければという時代が長かったので仕方がない面はあります。だとしても、関心事が経済やビジネスに偏りすぎてるように思えてなりません。

日本人も、かつてはもともと人生をエンジョイしていました。室町時代には奇天烈^{きてんれつ}な装束を身にまとった武士が大勢いました。「婆娑羅大名(注1)」や「傾奇者(注2)」と呼ばれた人々です。いまで言うパンクファッションです。日本人は元来、楽しむことが大好きな民族なのです。

戦後このかた、そういう感覚が追いやられすぎていたのではないのでしょうか。人生をもっと楽しむ心があれば、人間的な幅が広がり、魅力がより(ア)醸成^{かうせい}され、個人として熟成^{じゅくせい}されます。突き詰めて言えば、教養とはそのためのツールにすぎないのです。

教養を身につけるには、ある程度の知識が必要です。教養と知識は、不可分の関係にあると言っても間違いではありません。しかし、勘違いしてはいけないのは、知識はあくまで道具であって手段にすぎないということです。決して知識を増やすこと自体が目的ではありません。

知識が必要なのは、それによって人生の楽しみが増えるからです。サッカーを知らなければテレビでワールドカップを放映していても面白くも何ともありませんが、サッカーを知っていれば最高の時間になります。知識はその人の興味の範囲を広げてくれます。それが「教養化した知識」です。

別に興味の範囲を広げようなどとは思わない、面白いことは一つあれば十分だという考え方もあるかもしれませんが。もちろん、それはそれでいいのですが、興味の対象が多ければ多いほど、本当に自分が好きなものや、打ち込めるものが見つかる確度が高まります。つまり、選択肢が広がるのです。自分が本当に好きなものは案外見つからないものです。面白いことが多いのは決して悪いことではないでしょう。

また、面白いことは一つで十分だと考えていると、食わず嫌いに陥る可能性があります。食べてみたらすごくおいしいと感じる食事であっても、食べてみなければそのよさは分かりません。

中略

教養のもう一つの本質は、「自分の頭で考える」ことにあります。著名な科学史家の山本義隆氏は、勉強の目的について「専門のことであろうが、専門外のことであろうが、要するにもごとを自分の頭で考え、自分の言葉で自分の意見を表明できるようになるため。たったそれだけのことです。そのために勉強するのは」と語っています。この当たり前のことが、案外置き去りにされている気がします。

だいぶ前の話になりますが、テレビのコマーシャルで、日本船舶振興会（現・日本財団）の笹川良一氏が子どもたちと大きな人の輪をつくり、「世界は一家、人類は皆兄弟」というメッセージを発信していました。それと同じシリーズで、笹川氏と子どもたちが拍子木を叩いて町中を歩くというバージョンもあり、そちらでは「戸締り用心、火の用心」と呼びかけていました。

私はとくに何とも思わずに見ていたのですが、連合王国（「連合王国」とは「U.K.」すなわち United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland、いわゆる「イギリス」のことです。日本で用いられる「イギリス」という呼称は、イングランドが詠った言葉で、世界中どこにも通用しない不正確な表現です）の友人から、「このテレビのコマーシャルは、クレイジーだ」と言われました。驚いて「なぜ？」と尋ねたところ、彼はこう答えました。一方で「人類皆兄弟」と言っているのに、もう一方では「戸締り用心」と言っている。矛盾しているではないか。もし、「人類皆兄弟」なら「戸締り用心」など必要ないはずだし、「戸締り用心」が必要なら「人類皆兄弟」とは言えないではないか、と。

一瞬呆気^{あきけ}に取られてしまいましたが、言われてみれば、たしかにその通りです。ただボンヤリと見ていた私は何の疑問も抱かなかつたのに、彼は一目見るなり「おかしい」と思ったのです。

そのコマーシャルを「知っている」という点では私も彼も同じでした。つまり知識には差はありませんでした。しかし、私が鵜呑みにしていたのに対して、彼はコマーシャルの矛盾に気がつきました。「知っている」というだけでは十分ではないのです。知識に加えて、それを素材にして「自分の頭で考える」ことが教養なのだと思います。

小さなエピソードですが、知識があっても、自分の頭で考えなければ、他人の言うことに流されてしまうと、大いに反省させられたひとコマでした。それ以来、X少しはさまざまな言説の「整合性」ということを真面目に考えるようになりました。

「自分の頭で考える」際には、「腑に落ちる」という感覚が一つのバロメーターになります。本来に自分でよく考えて納得できたとき、私たちは「腑に落ちる」という感覚を抱きます。この感覚は大変重要です。

ところが、「腑に落ちる」ことも、また少々軽視されているところがあります。たとえば、何が分からないテーマや事柄があつたとして、それについて誰かが説明していたら、その説明を聞いただけで、もう分かつたつもりになっている、といったことはないでしょうか。

とくに最近（イ）安直に「答え」をはしがる傾向があり、それに応じてきれいに整えられた「答え」や、一見「答え」のように見える情報が、ネット空間などにはあふれています。ランキング

情報やベストセラー情報などは、その最たる例です。あるいは情報がコンパクトにまとめられたテレビ番組もたくさんあります。多くの人が、まるでコンビニへ買い物にでも行くかのように「答え」の情報に群がり、分かった気になっています。

誰かの話をちよつと聞いただけで「分かった」と思うのは安易な解決法です。立派そうな人の本を読んで「なるほど、その通りだな」と思い、翌日に反対の意見を持つ人の本を読んで「もつともだな」と思ったのでは、意味がありません。自分の頭で考えて、本当に「そうだ、その通りだ」と腹の底から思えるかどうか（腹落ちするかどうか）が大切なのです。

私自身は、人の話を聞いてすぐに「分かった」と思うことはほとんどありません。心の底から「分かった」と思えない間は、「そういう考え方もあるのだな」という状態で保留扱いにしておきます。否定もしません。結論を急いで「分かった」と思おうとするのは間違いのもとです。「腑に落ちる」まで自分の頭で考え抜いているかどうか、私たちはもう少し慎重になったほうがいいと思います。

整えられた「答え」ですませてしまうのは、そのほうが楽だからです。しかし、それは手抜きというものです。世の中のたいいの物事には、じつはすつきりした「答え」がありません。それが人生というものです。すつきりしているのは、多くの情報が削ぎ落とされ、形が整えられているからです。しかし多くの場合、**Y**削ぎ落とされた部分がキモだったり、形を整える際に、（道理ではなく）無理が入り込んでしまつていたりします。

すつきりしない情報をあちこちから収集し、自分の頭のなかで検証し、本当に納得することが、「自分の頭で考える」ということです。物事を見誤らないための、とても重要な作業です。私は、多少へそ曲がりの性格ということもあつて、子どものころからずつとその姿勢を貫いてきました。

「何となく腑に落ちないな」という感覚が少しでもあれば、安易な（ウ）妥協はせずに探究を続けることが大切です。別の見方を考えてみる、さらに情報を探してみるなど、いまでは情報を探る方法はたくさんあります。探究を続けるうちに、あるところで、本当に「腑に落ちる」という感覚が得られるはずで、それが納得できたということです。

人間が意欲的、主体的に行動するためには、「腑に落ちている」ことが必須です。

講演会で若い人たちに、「もし、あなたの大好きなボーイフレンド、ガールフレンドについて、親が交際に反対したらどうしますか？」と質問すると、ほぼ全員が「親の言うことは聞かない」と答えます。どうして親の反対を無視できるかと言えば、「この人がいい」とはつきり分かっているからです。しつかり腑に落ちているからこそ、親の反対があつたとしても交際を続けるという行動がとれます。腑に落ちていることが、行動やバイタリテイの源泉になります。つまり、**Z**本気を呼び起こすのです。

（文章の一部と本文中の小見出しを省略した。）

注

（注1） 娑婆羅大名 —— 派手な格好をして身分の上下を気にせず自由に振る舞う者のことを娑婆羅という。公家や天皇への権威主義へ反発する一方、庶民のヒーローと

しても扱われた。南北朝時代に佐々木道誉(ささきどうよ)という武将がおり、その風貌や行いから「婆娑羅大名」と呼ばれた。

(注2) 傾奇者——派手な身なりで風変わりな行動をする者のことで戦国時代に流行った社会風潮である。新興の芸能として聴衆を魅了した。歌舞伎者とも表記する。

問1 傍線部(ア)～(ウ)の表現の本文中の意味内容として最も適切なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ .

- (ア) 醸成
- ① 十分時間をかけず急いでつくること
 - ② 時間をかけて少しずつ作りだしていくこと
 - ③ 段階を経て洗練されていくこと
 - ④ 他者に徐々に広まっていくこと
 - ⑤ 新しい一面を発見すること

- (イ) 安直
- ① 浅く広く情報を得ること
 - ② 欲しいものが見つかるまで粘り強く求めること
 - ③ 深く考えずに簡単に済ますこと
 - ④ 直感で理解すること
 - ⑤ 一般的な考えを求めること

- (ウ) 妥協
- ① 理解したふりをする事
 - ② 目的を達成するためどこまでも追い求めること
 - ③ 一致する点を見だしおだやかに解決すること
 - ④ 意見が合わず物別れに終わること
 - ⑤ こだわり続けること

問2 傍線部W「日本人は、心の幅が不足しているように感じます」とあるが、本文中におけるその意味の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は .

- ① 日本人は元々人生を楽しむ心を持っているはずだが、時代の求めによって生きていくことを優先したためそれが叶わず別なことに関心を払わなければならなくなったということ。
- ② 日本人は教養を身につけるために知識が必要だが、人生を面白くするためにはいかに知識を増やすことができるかということが最も重要であるということ。
- ③ 教養を身につけるために知識が必要だが、人生を面白くするために自分が何が好きなのかについて正確に知るために知識を増やすことが求められるということ。
- ④ 教養を身につけるために知識が必要であり、教養人だと他者に認めてもらう方法の一つとして知識を増やすことが挙げられているということ。
- ⑤ 日本人が教養を身につけるために元々持っている人生を楽しむ心を取り戻すためには、自分の趣味を活かすことが重要であるがそれが不足しているということ。

問3 傍線部X「少しはさまざまな言説の『整合性』ということを真面目に考えるようになりました」とあるが、それはどうしてか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 連合王国の友人から日本のコマーシャルが矛盾していると指摘を受けた体験を通して、他国の文化の矛盾点に気づくことが教養の一つの重要な側面だと理解したことから今後は注意深く文化の違いについて考える必要性を感じたから。
- ② 連合王国の友人から日本のコマーシャルは矛盾していると指摘を受けた体験を通して、普段何気なく目にしていても内容が正しいのかを常に判断することの重要性を意識するようになったから。
- ③ ものごとをそのまま受け取るのではなく、内容を自分で吟味し矛盾がないかどうか注目して考えることが教養の本質という思いに至ったから。
- ④ 知識を増やし他人の意見に左右されないようにすることが教養の本質であり、そのために知識を身につけながらいろいろな人の意見を聞く機会を持ち、その都度自分の頭で考えるくせをつけていこうと考えたから。
- ⑤ 同じように知識を持っていても自分で考えたかどうかで教養の有無が判断されると知り、既に持っている知識についてさらに調べ深く掘り下げてから自分で考えて初めて他者に公表することに至ったから。

問4 傍線部Y「削ぎ落とされた部分がキモだったり、形を整える際に、(道理ではなく)無理が入り込んでしまっていたりします」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 一見「答え」のように見えても、たいていの物事には「答え」がないことが多いため、最初から「答え」を探そうとすること自体に無理があるということ。
- ② 一見「答え」のように見えても、たいていの物事には「答え」がないことが多いため、最初から「答え」を導く筋道でなく理解しやすい情報で納得するのは仕方がないということ。
- ③ 一見「答え」のように見えても、理解しやすいように情報が限られているため本当に納得するためには自分で情報を検索する膨大な時間が必要であるということ。
- ④ 一見「答え」のように見えても、実は理解しやすいように情報が限られており他の重要な内容は個人の感覚で補うしかないということ。
- ⑤ 一見「答え」のように見えても、分かりやすく理解しやすいように情報をまとめているため大事どころや本質には触れていない場合が多いということ。

問5 傍線部Z「本気を呼び起こすのです」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 親に交際を反対されたとき、親を納得させることに意欲になれるのは交際してみたいという熱意を自覚できたからということ。
- ② 親に交際を反対されたとき、交際したいという意志より反対されたことへの反発が力の源となり親の言うことはきかず交際を続けることができるということ。
- ③ 親に交際を反対されたとき、交際したいという意志がはつきりしており納得できているからこそ親の言うことはきかず交際を続けることができるということ。
- ④ 親に交際を反対されたとき、このような状況ではどのような選択をすればよいのか情報を集めるなどして必死に自分自身で考え抜くことが教養の大事な側面であるということ。
- ⑤ 親に交際を反対されたとき、交際したいという意志がはつきりしており納得できているものの本当にそれでいいか自信がないため答えが見つかるまで考え抜こうと決心したということ。

問6 この随筆の主題についての説明として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 筆者は、教養の本質は人生を豊かにするためのものであること、もう一つは自分で思考し納得することの二つであると考えている。教養を高めることで人間的にも成長するとし、人としての成長が思考することよりも重要であると主張している。
- ② 筆者は、教養とは人生を豊かにするためのものであり、今以上に自分の好きなものを探すことに時間を注ぐことを勧めている。自分が本当に求めているものに容易に出会うことはできないことから知識を増やすことが先決だと主張している。
- ③ 筆者は、教養とは人生を豊かにするためのものであり、教養人と呼ばれることが一つのステータスであるとしている。そのためには自分で思考して納得できたときの「腑に落ちる」感覚を大事にすることが必要であると主張している。
- ④ 筆者は、教養とは人生を豊かにするためのものであり、知識があるだけで分かったつもりになることは教養があるとは言えず、自分で思考し納得できたときの「腑に落ちる」感覚をより重視した方がよいと主張している。
- ⑤ 筆者は、教養とは人生を豊かにするためのものであり、教養があるとは知識の量と比例するとしている。知識を使って自分で思考することが教養であり、納得できたときの「腑に落ちる」感覚が大事であると主張している。

2. 英語

※英語の問題は、全7ページです。

英語

1

次の会話（問1～問5）の会話を完成させるために、（ ）に入れるのに最も適切なものを下の①～④のうちから一つずつ選べ。

問1 A: I'm trying to get in shape, so I've been exercising 3 hours a day. 1

B: Whoa, don't you think that's too much? You could hurt yourself.

A: Hmm, maybe you're right. I should probably () for a while.

B: I agree.

① take your time

③ take it out

② take aim

④ take it easy

問2 A: How would you like to split the bill? 2

B: Oh don't worry, ().

A: Really? That's very generous of you.

B: No problem at all.

① it's on me

③ let's cut it in half

② it's not the same

④ let's figure it out

問3 A: Why is your car parked across the street? 3

B: I had to make room for the moving truck to park here.

A: Ah, that ().

B: Yeah. I'll move it back now.

① comes and goes

③ makes sense

② did the trick

④ hits the spot

問 4 A: Could you give me a ride to school today? I have some heavy things to carry.

B: Sure! Will you need a ride home as well?

A: Yes, I will. Thanks.

B: ().

- ① Keep that in mind ③ Far from it
② Don't mention it ④ That goes without saying

問 5 A: I can't decide what to order.

B: How about the club sandwich? It's pretty good here.

A: Hmm, no... I don't really feel like a sandwich right now.

B: Well, you should decide quickly because the waiter is coming.

A: Alright, () I'll just order a salad.

- ① just in time ③ third time's the charm
② for the time being ④ all in good time

2

次の問い (問 1 ~ 問 10) の ~ に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①~④のうちから一つずつ選べ。

問 1 It looks some crows got into the garbage.

- ① at odds ② instead of ③ throughout ④ as if

問 2 If I to manage this project, I would need an assistant.

- ① want ② was ③ were ④ would

問 3 of them have eaten lunch yet.

- ① Neither ② Either ③ Both ④ One

問 4 Andrew is the top tennis players in the world.

- ① along ② among ③ between ④ through

問5 You need to submit the assignment 3 p.m. next Wednesday.

- ① until ② when ③ by ④ on

問6 You since this morning, why don't you take a break?

- ① have been working ② have worked ③ are working ④ worked

問7 The pool felt cold at first, but I got it after a while.

- ① useless ② using ③ used to ④ to use

問8 I'm not sure the mail hasn't been delivered yet.

- ① who ② what ③ where ④ why

問9 She loves hiking, , her brother prefers indoor activities.

- ① conversely ② consequently ③ additionally ④ similarly

問10 I was surprised when I that school was canceled due to the storm.

- ① looked up ② found out ③ wrote down ④ saw through

3

次の英文（問1～問5）の下線部①～④のうち、誤りが一箇所ある。誤りをさがし、番号で答えよ。

問1 This book is more ① captivating ② then the one I ③ read ④ last month.

問2 Yesterday when the sun ① set, many stars ② begin to ③ appear ④ in the sky.

問3 ① Running in the park ② is a great way to ③ exercise and stay ④ activity.

問4 ① Their was ② once an old church ③ here with large ④ stained-glass windows.

問 5 ① When a beautiful ② sight the sunset ③ creates ④ over the ocean!

20

4

次の問い(問 1 ~ 問 5)において、日本語の意味に合うようにそれぞれ下の①~⑤の語句を並べ替えて空所を補い、最も適当な文を完成させよ。ただし、文頭に來るべき語も小文字で示してある。解答は [21] ~ [30] に入れるものの番号のみを答えよ。

問 1 彼女の料理の腕前は私よりすごい。

Her cooking skills () ([21]) () ([22]) ().

① than ② are ③ impressive ④ more ⑤ mine

問 2 海水浴は爽快な体験です。

() ([23]) () ([24]) () a refreshing experience.

① the ② in ③ is ④ ocean ⑤ swimming

問 3 先生は私に携帯電話をしまうように言った。

The () ([25]) () ([26]) () my phone away.

① told ② to ③ teacher ④ put ⑤ me

問 4 彼の機転がなければ、衝突していただろう。

() ([27]) () ([28]) () quick thinking, we would have crashed.

① for ② it ③ weren't ④ if ⑤ his

問 5 これらの建造物はすべて紀元前 250 年頃に建てられたものだ。

These () ([29]) () ([30]) () 250 B.C.

① all ② structures ③ around ④ were ⑤ built

5

次の文章を読み、問い(問 1 ~ 問 4)に答えよ。なお、* のついた単語には注がつけてある。

The Negative Impacts of ChatGPT on Education

In the age of technological advancements, where artificial intelligence (AI) has become an integral* part of our lives, ChatGPT, a ^(a) revolutionary language model, has brought both convenience and challenges to various industries. One area significantly* affected by the debut of ChatGPT is education. While the potential benefits of AI in education are undeniable,

teachers have ^(b)encountered a range of problems since the introduction of this new technology.

One issue that has emerged pertains* to the lack of critical thinking skills among students. As ChatGPT becomes a readily available tool for getting information, students might become overly dependent on it, giving up the development of their analytical and problem-solving abilities. This raises concerns about the long-term impact of such dependence on their overall cognitive development.

Another troubling issue is plagiarism* facilitated by ChatGPT. Students can easily generate essays and assignments without fully comprehending the subject matter, as the AI can produce well-written content even if the student lacks understanding. This doesn't just hurt the way education works but also makes original thinking and research skills, which traditional education aimed to help grow, seem less important.

One of the foundations of effective teaching is the emotional connection between teachers and students. ChatGPT, while good at providing information, lacks the emotional intelligence that human teachers naturally have. The bond formed between a teacher and a student goes beyond the curriculum, and includes mentorship*, guidance, and emotional support. The absence of ^(c)this element can slow down or even prevent a student's emotional and social development.

There is a significant problem regarding unequal access to technology as well. Not all students have the same level of internet connectivity or access to computers. This digital divide* makes educational inequalities even worse, as students who lack access to the technology required to interact with AI tools might fall behind their classmates who have access to such resources.

The debut of ChatGPT has started a new era of possibilities for education, but it has also brought several issues that educators must deal with. While virtual assistance has made administrative tasks and information gathering much quicker, it poses challenges such as ^(d)fostering over-dependence on technology, increasing plagiarism rates, and diluting* the emotional connection between teachers and students. (A), the unequal access to technology and the ethical implications* of AI in education cannot be ignored.

As educators continue to explore innovative ways to integrate AI into their classrooms, striking a balance between technological advancement and maintaining the essence of effective teaching remains a ^(e)pressing concern. The key lies in using AI tools to aid the educational

experience while preserving the core values of critical thinking, creativity, and emotional engagement that have been the hallmark* of quality education for generations. By addressing these challenges head-on*, educators can (f) harness the power of AI to create a more inclusive*, engaging, and ethical educational environment for future generations.

注: integral 不可欠の、欠くことのできない, significantly 著しく, pertain 関連する, plagiarism 盗作, mentorship 指導により導かれる関係, digital divide 情報格差, diluting 薄める, implications 示唆、包含, hallmark 証明、認証, head-on 真っ向から、対決する, inclusive 包括的な

問 1 下線部の (a), (b), (d), (f) の意味に最も近いものを、それぞれ①～④のうちから一つずつ選び、番号で答えよ。

(a) revolutionary ① radical ③ circular
 ② revolving ④ unknown

(b) encountered ① run into ③ run over
 ② run through ④ run past

(d) fostering ① surrounding ③ reducing
 ② promoting ④ blocking

(f) harness ① take ③ grow
 ② use ④ feel

問 2 (A)に入る最も適切なものを、下の①～④から一つ選べ。

- ① Therefore
- ② Meanwhile
- ③ Moreover
- ④ Similarly

問3 文中の_(e)pressing と最も近い意味で使われているものを下の①～④から一つ選べ。 36

- ① The press waited outside for the police statement.
- ② He does not know how to press his dress shirt.
- ③ The lawyer didn't press the witness any further.
- ④ Press the green button to activate the machine.

問4 次の3問については、本文の内容に最も近い答えを選べ。

Which of the following is NOT a problem that the author discussed? 37

- ① Students might use ChatGPT instead of thinking for themselves.
- ② Some teachers may lose their jobs because of ChatGPT.
- ③ The purpose of education will seem less and less important.
- ④ Education will be unfair for students who cannot access ChatGPT.

Which statement best reflects the author's point of view about ChatGPT? 38

- ① ChatGPT is a wonderful innovation, but has also caused new problems.
- ② ChatGPT is harmful to education, and its use should be prohibited.
- ③ ChatGPT used to be a problem for education, but now it is widely accepted.
- ④ ChatGPT has made education worse and worse since it was created.

In the text, what is _(c)this element most likely referring to? 39

- ① a ChatGPT problem
- ② a technological skill
- ③ a human connection
- ④ a curriculum

3. 数学

※数学の問題は、全4ページです。

数 学

1 以下の各問いに答えよ。

1) $\sqrt{4 + \sqrt{15}}$ の式を簡単にすると、 $\frac{\sqrt{\text{アイ}} + \sqrt{\text{ウ}}}{\text{エ}}$ となる。

2) $x = \frac{1}{3 - \sqrt{3}}$, $y = \frac{1}{3 + \sqrt{3}}$ のとき、 $(x + y)^2$ の値は オ である。

3) 1 以上 200 以下の自然数の中で、6 でも 8 でも割り切れない数は カキク 個ある。

4) $\triangle ABC$ において、 $AB = 8$, $BC = 7$, $CA = 5$ のとき、 $\triangle ABC$ の面積は $\text{ケコ} \sqrt{\text{サ}}$ である。

5) 4% の食塩水と 20% の食塩水を混ぜて、8% 以上、10% 以下の食塩水 1000g を作るためには、20% の食塩水を シスセ g 以上、 ソタチ g 以下とすればよい。

2

2次関数 $A: y = x^2 + kx - 4$ ($k > 0$) は、1次関数 $B: y = x + a$ と接しており、 x 軸と2点で交わっている。2次関数 A と x 軸との交点間の距離が5のとき、以下の問いに答えよ。

1) 2次関数 A と x 軸の交点の座標は $(\frac{\text{ア}k \pm \sqrt{k^2 + \text{イウ}}}{\text{エ}}, \text{オ})$ となる。

2) 2次関数 A と x 軸の交点間の距離が5となるので、 $k = \text{カ}$ となる。

3) 2次関数 A と 1次関数 B は接しているので、 $a = \text{キク}$ となる。

4) 2次関数 A と 1次関数 B の接点は、 $(\text{ケコ}, \text{サシ})$ となる。

5) 2次関数 A と x 軸の2つの交点と、2次関数 A と 1次関数 B の接点で作られる三角形の面積は、 スセ となる。

3

4人の大人と3人の子どもがいる。このとき以下の問いに答えよ。

- 1) 7人が一列に並ぶとき、並び方の総数は 通りである。
- 2) 7人が一列に並ぶとき、子ども3人が隣り合う並び方の総数は 通りである。
- 3) 7人が一列に並ぶとき、両端が大人である並び方の総数は 通りである。
- 4) 7人から3人の代表者を選ぶとき、大人と子どもがそれぞれ少なくとも一人は選ばれるような選び方の総数は 通りである。
- 5) 7人から3人の代表者を選ぶとき、特定の2人A, Bについて、Aは選ばれるが、Bは選ばれない選び方の総数は 通りである。

4

8人の学生に国語、数学、英語の各教科10点満点の試験を実施した。試験の得点結果を表1に示す。この結果をもとに、以下の問いに答えよ。

- 1) 国語の試験の平均点は6.5点であった。学生番号1の国語の試験の得点Aは、点となる。
- 2) 英語の試験の平均点は数学の試験の平均点より、1.25点低かった。また、学生番号1の3教科の平均点は、学生番号2の3教科の平均点より2点低かった。したがって、学生番号1の数学の試験の点数Bは点、英語の点数Cは点となる。
- 3) 英語の試験の平均点は. 点である。また、中央値は点であり、最頻値は点となる。
- 4) 国語の試験の分散は. 点であり、標準偏差は. 点となる。
- 5) 「国語の試験（点）」「数学の試験（点）」の分布を示す散布図を に作成せよ。なお、散布図を作成するにあたっての注意事項は解答用紙に示した通りであり、特に記載されていない事項においては自由に判断してよい。

表1

学生番号	国語	数学	英語
1	A	B	C
2	8	9	4
3	7	7	3
4	7	6	8
5	8	8	9
6	6	7	3
7	7	8	6
8	6	5	3
平均	6.5	X	Y